

**製品名: MEK4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21291**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:44kD;Observed MW:44kD

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K4
別名	MAP2K4;JNKK1;MEK4;MKK4;PRKMK4;SEK1;SERK1;SKK1;Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 4;MAP kinase kinase 4;MAPKK 4;JNK-activating kinase 1;MAPK/ERK kinase 4;MEK 4;SAPK/ERK kinase 1;SEK1;Stress-activated pro
遺伝子 ID	6416.0
SwissProt ID	P45985
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

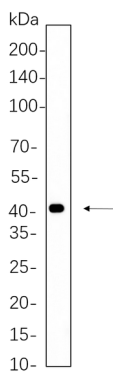
**背景**

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) ファミリーのメンバーをコードする。このファミリーのメンバーは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与する。これらは、MAPKKK、MAPKK、MAPK からなる 3 層シグナル伝達モジュールを形成する。このタンパク質は、MAPKKK によってセリンおよびスレオニン残基がリン酸化され、続いて下流の MAPK 標的のスレオニンおよびチロシン残基をリン酸化する。マウスにおいて同様のタンパク質が肝臓器官形成に関与することが報告されている。この遺伝子の偽遺伝子は、X 染色体長腕に位置する。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



A431 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を MEK4 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。